

船引

調査活動状況 07.11-08.07
東京大学大学院・北沢研究室

平成19年11月から田村市と東京大学空間計画研究室（北沢猛教授）の共同でまちづくりの調査検討を行なっています。平成19年度は JR 船引駅周辺地区を取り上げ、「田村市中心市街地まちづくり基本方針」を提案しました。平成20年度は基本計画として、基本方針を発展させた実行計画（アクションプラン）を検討するとともに、重要で先導性のある事業は実験する予定です。4月から調査に入りました。ヒアリングやワークショップを通して住民の方の意見を伺っています。徒歩や自転車で駆け回って、地域の空間構造を把握、歴史や自然資源を集め整理し始めています。中心市街地の外延、郊外部や農村部も調査範囲に入れています。農業と商業の関係や都市と農村のつながりを見直す、普通だけど美しく失われやすい風景を散策ルートで再発見するなど、地域を広い視野で捉え、「住み続けられるまち・船引」を実現していきます。こうした調査検討を10月開催予定のシンポジウムで中間報告する予定です。

<これまでの活動経緯>

2007.11.03 第1回田村市中心市街地まちづくり基本方針検討委員会（以下、委員会）

2007.11.02-04 第1回船引地区中心部調査（空間構造、ヒアリング、実測）、ワークショップ

2007.11.30 第2回委員会

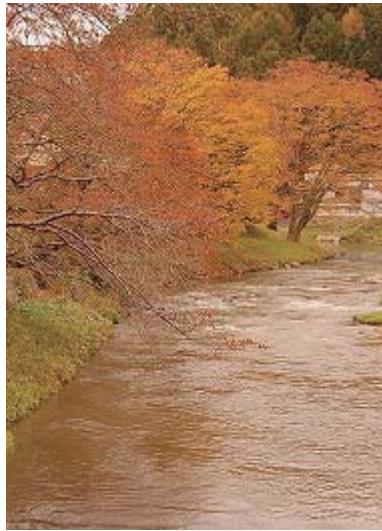
2008.01.17-18 第2回船引地区中心部調査（商業者及びまちづくり関係者のヒアリング）、ワークショップ

2008.02.29 第3回委員会、船引地区以外の4行政区（旧町村）視察

2008.04.24-25 第1回船引地区農村部調査（空間構造、集落調査、ヒアリング）

2008.05.27-30 第2回船引地区農村部調査（空間構造、集落調査、ヒアリング）

2008.07.01-04 第1回船引地区郊外部調査（空間構造、景観資源）、UDCT まちなか拠点準備工事



大滝根川の紅葉。はじめての船引で



UDCTの内装は手作りで行いました



昨年のワークショップの様子



調査から帰ってきてからは、議論議論！



まちづくり方針検討委員会にて発表

<調査内容>

ヒアリング調査

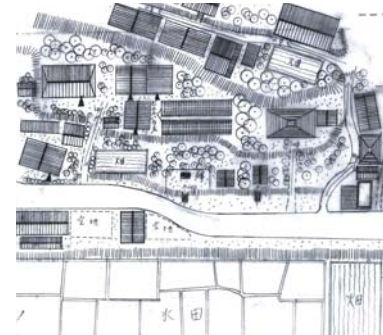
住民、商業者、行政区長、商工会、建設会社など、まちづくりに関係する方々にお話を伺いました。これまでのまちづくりや今後の課題を把握して、方針に反映させました。

空間調査

地図や文献で把握した空間構造を実際に歩いて確認し、地域空間の成り立ちを解析し、景観・歴史・自然など地域資源を探します。平成20年度は地域資源をつなぐタウントレイルを計画します。



いつもお世話になっている花の湯前で



七郷地区下郷の建物配置スケッチ



中心部の模型はこだわりの木製

集落調査

かつての葉タバコ集散のように中心部と郊外部農村部は社会経済的関係があります。集落における人々の暮らしや集落外との関係をまちあるきやヒアリングから探ります。

まちづくりワークショップ

19年度基本方針では、地元の方々と共同で意見交換とアイデア出しを行ないました。20年度もこうした参加型の検討を続けます。基本計画ですから、実行を前提にした実際的な検討になります。

※その他にも各種図面を駆使した検討や文献調査を進めています。



今年度は自転車で、更なる調査へ